

コード No. 10211

**Anti-Human
COX-2 (13H14) Mouse IgG MoAb**

容量 : 100 µg

はじめに : COX-1, COX-2 (Cyclooxygenase 1,2) は、別名 prostaglandin endoperoxide H synthase と呼ばれ、アラキドン酸からのプロスタグランジン H₂ (PGH₂) 合成における反応を触媒する重要な酵素です。

COX-1 と COX-2 はアミノ酸レベルで約 60% のホモロジーを持っていますが、COX-1 が腎臓、胃、血管平滑筋、あるいは血小板など、多くの組織に広く構成的に発現しており、いわゆるハウスキーピング的な役割をはたしていると考えられています。一方、COX-2 は通常多くの組織から検出することはできませんが、種々のサイトカイン、ホルモン、腫瘍誘発剤、炎症メディエーター、およびマイトジェンなどの刺激に対して反応しマクロファージやその他の細胞で一過性に高レベル発現してくることから、炎症病態に関連したプロスタグランジン産生を担うと考えられています。このように、炎症性 COX と呼ばれる COX-2 は、急性炎症巣、アレルギー性炎症肉芽組織、胃潰瘍の損傷治癒、あるいは生殖系などで多彩な役割をはたしていることが報告されています。

免疫抗原 : Human COX-2 の合成ペプチド

精製方法 : マウス×マウス ハイブリドーマ
(X63-Ag8.653×BALB/c マウス脾臓細胞、培養上清由来)

クローン名 : 13H14

サブクラス : IgG₁

精製方法 : Protein A による特異精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05% NaN₃ 含有 PBS 1.0 ml に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 蒸留水 1.0 ml 添加

保存方法及び安定性 : 2 ~ 8°C 保存 5 年間安定

: 溶解後 -20°C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 2 ~ 4 µg/ml にて使用可能
(ホルマリン固定, パラフィン切片, マイクロウェーブ処理)
: ウェスタン・ブロッティング 2 ~ 5 µg/ml にて使用可能
: 免疫沈降反応にて使用可能

特異性 : ヒト COX-1 とは反応しません。